

自己点検評価シート3

大項目 教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務

中項目 政策:04 国際交流・地域間交流の推進
 施策:06 交流活動の推進

担当課:生涯学習課

小項目	実績	評点	点検評価
青少年対策事業	1,917千円 友好姉妹都市との交流を図るため、夏休みを利用し児童生徒の訪問及び受入れ事業を行った。 ・北海道津別町受入れ 経費206千円 受け入れ 2泊3日 受け入れ人数 35人(高校生6人、小学生26人、引率3人) ・東京都小笠原村訪問 経費1,159千円 訪問期間 5泊6日 訪問人数 25人(生徒20人、引率5人) ・石川県穴水町訪問 経費551千円 訪問期間 3泊4日 訪問人数 17人(児童13人、引率4人)	3.0	・参加者が少なく なっている(穴水)を 考えると一考の予知 はある ・合併10年を経て見 直す必要があるか 否かの検討が必要。

中項目 政策:17 社会福祉の充実
 施策:28 児童福祉の充実

担当課 教育総務課

小項目	実績	評点	点検評価
幼稚園教育振興事業	17,977千円 (24園 294名) ・幼稚園教育を奨励するため、私立幼稚園の設置者に対して入園料及び保育料の減免を行う場合、私立幼稚園就園奨励費を支給した。 ・保護者の経済的負担の軽減が図られた。 ・国の補助事業であるため、各自治体で実施しているが、補助率が1/3以内ということもあり自治体間で所得制限の基準も補助金額も差がある。本市は財政的な理由により所得基準も補助金も国の基準より少ない。	3.3	・保護者の経済的 負担軽減の為引き 続き努力が必要で ある。

中項目

政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:35 生涯学習システムの推進

担当課:生涯学習課

小項目	実績	評点	点検評価
公民館運営費	1,610千円 ○公民館運営管理事業 公民館館長・主事が主体となって各地区(6地区)において生涯学習等に関する公民館事業(教室、講演会、講座等)を実施し、常に市民が利用するための場を提供した。 ・市内中央公民館6館、地区分館3館の事業運営経費 158千円 ※各地区事業開催延べ17事業実施、延べ参加者数3,107人 ・白根中央公民館維持管理経費 455千円 ※H24年度利用者数利用者 6,016人 ・公民館運営審議会委員(8人)報酬 177千円 ・館長・分館長・主事(48人)報償 655千円 ○豊文化教室運営管理事業 指定管理施設である豊文化教室(陶芸、軽音楽)の維持管理経費 指定管理者 楡形地区文化協会陶芸部 指定管理期間 10年間(H18~H27) 指定管理委託料 150千円 ※H24年度利用者数 954人 ○山梨県公民館連絡協議会 16千円	3.3	
生涯学習推進事業	3,550千円 ・生涯学習講座の開催 講師料、消耗品、保険料等 1,702千円 市民がいつでも自由に学習機会を選択し学ぶことができるように、年間を通して様々な講座を39講座(59回)開催した。 親子の教室:陶芸教室、望遠鏡作り教室等 教養講座:パソコン教室、野菜作り教室、整理収納講座等 趣味の講座:寄せ植え教室、手編み教室、着付け教室等 子ども講座:書道教室、ガラス工房体験教室 ※各種講座延べ参加者数 784人(大人581人、子供203人) ・社会教育委員(18人)報酬554千円 ・社会教育関係団体活動支援(地域団体23団体)1,202千円 ・第54回全国社会教育研究大会山梨大会負担金 10千円 ・第54回全国社会教育研究大会山梨大会参加者負担金 65千円 ・山梨県社会教育委員連絡協議会負担金 17千円	3.3	・各種講座の参加者数が平成22年度から半減しているが、市民の学習ニーズを調査し、改善を図る事が必要。 ・今後のあり方について検討する時期である。

中項目	政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実 施策:35 生涯学習システムの推進	担当課	市立図書館
小項目	実績	評点	点検評価
八田ふれあい 図書館運営費	<p>1,147千円</p> <p>高度農業情報図書館として、専門書からガーデニングなどの一般書まで農業に関する資料を多く収集・提供している。地域の情報の拠点として、農業講座の開催や施設への団体貸出(毎月)など、市民の暮らしに役立つ図書館として運営してきた。</p> <p>○利用状況 貸出資料数 62,927点 (1日平均 220点)</p> <p>○主な事業</p> <p>一般向け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業講座、朗読会(2回) 参加者 延べ 60名 <p>児童向け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会(22回)、団体利用時おはなし会(3回)参加者 延べ 514名 ・おはなし会出前サービス(保育所・児童館2回) 参加者 延べ 180名 ・春の子ども読書まつり(児童館と合同) 参加者 延べ 78名 ・工作教室(11回)、親子工作教室 参加者 延べ 238名 ・夏休み子ども教室(科学実験遊び・エコ工作・映画会・感想文おたすけ隊・子どもボランティア) 参加者 延べ 108名 ・春の子ども映画会 参加者 78名 ・お楽しみ人形劇 参加者 120名 <p>○需用費 992(雑誌・新聞費、図書館・事務消耗品 等)</p> <p>○役務費 117(通信運搬費・車検手数料・自動車保険料)</p> <p>○使用料及び賃借料 22(リース料)</p> <p>○公課費 16(自動車重量税)</p>	3.4	
白根桃源図書 館運営費	<p>2,759千円</p> <p>地域の情報拠点として、市民の要望に応えられるよう資料を収集・整理・保存をし、貸出、レファレンス、読書活動などの図書館サービスを図りながら、生涯学習を支える中核的な施設として図書館運営を行った。白根のみ独立館のため管理の費用が図書館予算に計上されている。地域の特徴から健康・福祉に関する資料や俳人福田甲子雄氏に関する資料を収集し、講座を開催した。</p> <p>○利用状況 貸出資料数49,721点(1日平均174点)</p> <p>○主な事業</p> <p>一般向け事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朗読会(2回)、健康講座、読み聞かせ講座 参加者 延べ 88名 <p>児童向け事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の子ども読書まつり(児童館と合同) ・夏休み子ども教室(子ども俳句教室・親子手づくり絵本・エコ工作教室・子どもボランティア) 参加者 60名 ・おはなし会(23回)・おはなし会0.1.2.(12回) ・おはなし会出前サービス 参加者 延べ139名 (施設訪問・保育所・児童館)20回 参加者 延べ517名 <p>○需用費(雑誌・新聞、光熱水費、図書館用品等)1,929</p> <p>○役務費(通信運搬費、手数料) 361</p> <p>○委託料(施設警備・館内清掃・消防設備点検) 288</p> <p>○使用料及び賃借料 (CATV使用料、公用車・清掃用具・植物リース料) 181</p>	3.4	

中項目 政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:35 生涯学習システムの推進

担当課 市立図書館
 点検評価

小項目	実績	評点	市立図書館 点検評価
わかさ図書館 運営費	1,226千円 特色ある資料(自然保護・環境)の収集・提供や環境講座・エコ 工作教室等の事業を行ってきた。また市民の暮らしに役立つ資料 を提供し、地域の情報の拠点として運営してきた。 ○利用状況 貸出資料数 62,310点(1日平均 218点) ○主な事業 一般向き ・環境講座・朗読会 参加者数 延べ126名 児童向き ・おはなし会(春の子どもまつり・012) 参加者数 延べ848名 ・工作教室(七夕・親子科学教室) 参加者数 延べ 88名 ・夏休み子ども教室(エコ工作・子どもボランティア) 参加者数 36名 ・おはなし会出前サービス(小学校・児童館) 参加者数 延べ589名 ・子ども映画会(3回) 参加者数 延べ120名 ・市立図書館クリスマス会 参加者数 246名 ○需用費 941(雑誌42誌・新聞6誌購入費・図書消耗品・車検等) ○役務費 84(電話料・車検手数料・タイヤ交換料) ○使用料及び賃借料 194(印刷機・清掃用具) ○公課費 7(自動車重量税)	3.4	

中項目 政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:35 生涯学習システムの推進

担当課 市立図書館

小項目	実績	担当課 評点	市立図書館 点検評価
楡形図書館運営費	<p>45,888千円</p> <p>市内図書館の中央館機能を持つ図書館として、市民の暮らしに役立つ最新情報や資料を提供している。また、市民の読書活動や学習活動を高めるために講座や講演会等の開催と子どもの発達段階に応じた読書支援を行っている。24年3月に策定した子どもの読書活動推進計画（第2次）の成果と課題を踏まえ、子どもの読書活動を家庭、地域、学校等と連携を図りながら推進した。</p> <p>○利用者状況 貸出資料数 204,382点（1日平均 715点）</p> <p>○主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館講座(2回) 参加者 延べ 55名 ・シニア講座(4回) 参加者 延べ 73名 ・絵本の読み聞かせ講座 参加者 10名 ・朗読会(4回) 参加者 延べ 164名 ・市民活動フェスタ工作教室 参加者 130名 ・桃源文化振興協会合同事業 参加者 292名 ・ブックスタート(24回) 参加者 延べ 476名 ・そよかぜこどもまつり 参加者 80名 ・秋の子どもフェスタ講演会 参加者 322名 ・工作教室(2回) 参加者 延べ 227名 ・映画会(5回) 参加者 延べ 311名 ・読書感想文おたすけ隊 参加者 12名 ・おはなし会(61回) 参加者 延べ 944名 ・おはなし会出前サービス(7回) 参加者 延べ 131名 ・団体貸出 年12回（保育所4箇所と福祉施設1箇所に本の貸出し） 年 4回（福祉施設3箇所に本の貸出し） ・東京スカイツリーオープン記念展・防災の日企画展・子ども企画展の開催 <p>○報酬 177(図書館協議会委員10名)</p> <p>○賃金 34,123(臨時職員・パート・アルバイト)</p> <p>○報償費 590(絵本ライブ・各種講座講師謝金等)</p> <p>○旅費 123(図書館講演会等講師旅費・職員県外研修5名)</p> <p>○需用費 3,807(雑誌132誌・新聞16紙・ブックスタート事業等)</p> <p>○役務費 1,495(電話料・資料マーク代・整備代等)</p> <p>○委託料 3,616(図書館システム・マーク保守)</p> <p>○使用料等 1,922(図書館コンピュータ・コピー機リース料等)</p> <p>○負担金等 37(日本図書館協会年会費等)</p>	3.6	

中項目 政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:35 生涯学習システムの推進

担当課 市立図書館

小項目	実績	評点	点検評価																					
櫛形図書館芦安分館	<p>73千円《週2回(火・金)午後1時～5時開館》 地域住民とのふれあいを図り、秋のお楽しみ会は保育所・小学校・高齢者が交流し、芦安ならではの楽しみ会を行った。また、生きがい活動支援通所事業は高齢者への朗読会を行った。</p> <p>○利用者状況 貸出資料数 1,404点(1日平均 14点) ○主な事業</p> <table border="0"> <tr> <td>・新緑やまぶき祭参加</td> <td>参加者</td> <td>200名</td> </tr> <tr> <td>・エコ工作教室</td> <td>参加者</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>・夏休み子ども映画会</td> <td>参加者</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>・秋のお楽しみ会</td> <td>参加者</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>・冬休み工作教室</td> <td>参加者</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>・生きがい活動支援通所事業 (毎月第2・4水曜日) 21回</td> <td>参加者</td> <td>延べ167名</td> </tr> </table> <p>○需用費 73(消耗品・雑誌購入費7誌等)</p>	・新緑やまぶき祭参加	参加者	200名	・エコ工作教室	参加者	17名	・夏休み子ども映画会	参加者	8名	・秋のお楽しみ会	参加者	24名	・冬休み工作教室	参加者	3名	・生きがい活動支援通所事業 (毎月第2・4水曜日) 21回	参加者	延べ167名	3.4				
・新緑やまぶき祭参加	参加者	200名																						
・エコ工作教室	参加者	17名																						
・夏休み子ども映画会	参加者	8名																						
・秋のお楽しみ会	参加者	24名																						
・冬休み工作教室	参加者	3名																						
・生きがい活動支援通所事業 (毎月第2・4水曜日) 21回	参加者	延べ167名																						
甲西図書館運営費	<p>1,038千円 特色ある資料(子育て支援・児童書)の収集・提供や外国語のおはなし会・絵本講座などの事業を行ってきた。また、市民の暮らしに役立つ資料を提供し、地域の情報拠点として運営してきた。</p> <p>○利用状況 貸出資料数 53,904点(1日平均 189点) ○主な事業</p> <table border="0"> <tr> <td>一般向き</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・朗読会・絵本講座</td> <td>参加者 延べ</td> <td>132名</td> </tr> <tr> <td>児童向き</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・おはなし会(春の子どもまつり・0.1.2)</td> <td>参加者 延べ</td> <td>1,102名</td> </tr> <tr> <td>・外国語のおはなし会</td> <td>参加者 延べ</td> <td>79名</td> </tr> <tr> <td>・夏休み子ども教室 (工作・詩・感想文・子どもボランティア)</td> <td>参加者 延べ</td> <td>124名</td> </tr> <tr> <td>・おはなし会出前サービス(保育所)</td> <td>参加者</td> <td>43名</td> </tr> </table> <p>○需用費861(雑誌43誌・新聞6紙・消耗品) ○役務費 35(FAX回線料等) ○使用料及び賃借料 142(公用車リース等)</p>	一般向き			・朗読会・絵本講座	参加者 延べ	132名	児童向き			・おはなし会(春の子どもまつり・0.1.2)	参加者 延べ	1,102名	・外国語のおはなし会	参加者 延べ	79名	・夏休み子ども教室 (工作・詩・感想文・子どもボランティア)	参加者 延べ	124名	・おはなし会出前サービス(保育所)	参加者	43名	3.4	
一般向き																								
・朗読会・絵本講座	参加者 延べ	132名																						
児童向き																								
・おはなし会(春の子どもまつり・0.1.2)	参加者 延べ	1,102名																						
・外国語のおはなし会	参加者 延べ	79名																						
・夏休み子ども教室 (工作・詩・感想文・子どもボランティア)	参加者 延べ	124名																						
・おはなし会出前サービス(保育所)	参加者	43名																						

中項目	政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実 施策:35 生涯学習システムの推進	担当課	市立図書館																						
小項目	実績	評点	点検評価																						
図書館資料購入費	<p>29,500千円</p> <p>市民の学習要求の多様化・高度化に伴い、最新資料や情報を整備し、資料提供によって市民の学習意欲の喚起や読書の普及を図った。</p> <p>「住民生活に光をそそぐ交付金」として図書館資料購入費に1千万円が上乗せされた。このうち学校図書館資料購入費として250万円を22校に均等配分した。</p> <p>地域住民が必要として役に立つ資料を中心に、新鮮で魅力ある情報を市民に提供できるよう、各館の司書全員で資料を選定し、週1回担当者による選書会議で検討した上で、地元書店組合から購入している。市内図書館の資料が、幅広い蔵書内容になるように努めている。地域の特性を活かしながら各館で特色ある蔵書構成を行い、櫛形図書館は地域資料及び中央館としての総合収集・八田ふれあい図書館は農業関係資料・白根桃源図書館は治水・福祉関係・わかくさ図書館は環境関係資料・甲西図書館は子育て関係資料なども整備した。</p> <p>図書購入数は14,833冊(蔵書数327,609冊)・視聴覚資料購入数は178点(蔵書数7,743点)で市民一人当たりの資料数は4.58点。</p> <p>○図書購入数</p> <table border="0"> <tr> <td>八田ふれあい図書館</td> <td>2,113冊(内児童書 740冊)</td> </tr> <tr> <td>白根桃源図書館</td> <td>2,382冊(内児童書 980冊)</td> </tr> <tr> <td>わかくさ図書館</td> <td>2,293冊(内児童書 810冊)</td> </tr> <tr> <td>櫛形図書館</td> <td>5,752冊(内児童書1,278冊)</td> </tr> <tr> <td>甲西図書館</td> <td>2,293冊(内児童書 784冊)</td> </tr> <tr> <td>小中学校(22校)</td> <td>724冊</td> </tr> </table> <p>○視聴覚資料</p> <table border="0"> <tr> <td>八田ふれあい図書館</td> <td>24点</td> </tr> <tr> <td>白根桃源図書館</td> <td>21点</td> </tr> <tr> <td>わかくさ図書館</td> <td>17点</td> </tr> <tr> <td>櫛形図書館</td> <td>102点</td> </tr> <tr> <td>甲西図書館</td> <td>14点</td> </tr> </table> <p>○需用費 300(消耗品)</p> <p>○備品購入費 29,200(図書・視聴覚資料)</p>	八田ふれあい図書館	2,113冊(内児童書 740冊)	白根桃源図書館	2,382冊(内児童書 980冊)	わかくさ図書館	2,293冊(内児童書 810冊)	櫛形図書館	5,752冊(内児童書1,278冊)	甲西図書館	2,293冊(内児童書 784冊)	小中学校(22校)	724冊	八田ふれあい図書館	24点	白根桃源図書館	21点	わかくさ図書館	17点	櫛形図書館	102点	甲西図書館	14点	3.4	
八田ふれあい図書館	2,113冊(内児童書 740冊)																								
白根桃源図書館	2,382冊(内児童書 980冊)																								
わかくさ図書館	2,293冊(内児童書 810冊)																								
櫛形図書館	5,752冊(内児童書1,278冊)																								
甲西図書館	2,293冊(内児童書 784冊)																								
小中学校(22校)	724冊																								
八田ふれあい図書館	24点																								
白根桃源図書館	21点																								
わかくさ図書館	17点																								
櫛形図書館	102点																								
甲西図書館	14点																								

中項目

政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:35 生涯学習システムの推進

担当課:市立美術館

小項目	実績	評点	点検評価
美術館運営事業	26,566千円 ・春仙美術館 20,726千円 ・白根桃源美術館 5,840千円 美術館の環境を整備し、来館者が気持ちよく作品や施設(庭等含む)を観覧できるようにする。 また、収蔵作品がよい状態で保管ができるように維持管理を行う。	3.5	
美術館常設展事業	4,826千円 ○春仙美術館 名取春仙の作品を中心に、同時代に活躍した作家や現代作家、山梨に縁のある作家の展示を行う。 ・展覧会日数:214日間 ・入館者数 :3,484人 ・入館料 :121,680円 ・春仙美術館主催事業版画講座2日間で9名 ・夏祭り「春仙美術館夏の夕べ」:700人 ・ワークショップ 4回:154人 ・第2回南アルプス市絵画コンクール 2,611点の出品 ○白根桃源美術館 郷土作家を中心に展示を行う、付属展示室は市民ギャラリーとして貸出す。 ・展覧会日数:276日間 ・入館者数 :1,952人 ・入館料 :83,060円 ・付属展示室貸出し日数:160日間 ・入館者数 :1,812人	3.5	・市絵画コンクールは学校の協力を得る中で、今年度も大成功であった。
美術館企画展事業	8,830千円 多くの市民が優れた作品を鑑賞できるように企画展を開催する。 ・春仙美術館企画展事業 「安野光雅の世界展」 開催日数:45日間 入館者数:4,291人 入館料:952,880円 美術講演会入館者数:45人 おはなしの会:32人	4.0	・充実した企画展を実行し多くの入館者を確保した。 ・市内外から多数に来館者があり盛況の企画展であった。

中項目 政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:35 生涯学習システムの推進

担当課:生涯学習課

小項目	実績	評点	点検評価
八田高度農業情報センター管理費	18,200千円 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、公募により管理者を指定している。生涯学習施設の効率的な運用を推進し施設の維持管理に努め、常に市民が利用し生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 (株)ホンダショップ山梨 ・指定管理期間 3年間(H23~H25) ・指定管理委託料 17,900千円 ・駐車場用地賃借料 300千円 ※H24年度利用者数 32,482人	3.5	
若草生涯学習センター管理費	11,140千円 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、公募により管理者を指定している。生涯学習施設の効率的な運用を推進し施設の維持管理に努め、常に市民が利用し生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 シャンプレイ ・指定管理期間 3年間(H23~H25) ・指定管理委託料 11,140千円 ※H24年度利用者数 73,439人	3.8	・充実した事業が行われ、利用度も高い。 ・多くの事業が充実して参加者も多い。施設・設備も利用しやすく整理整頓されている。
楡形生涯学習センター管理費	18,816千円 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、公募により管理者を指定している。生涯学習施設の効率的な運用を推進し施設の維持管理に努め、常に市民が利用し生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 (財)桃源文化振興協会 ・指定管理期間 3年間(H23~H25) ・指定管理委託料 18,000千円 ・駐車場用地借地料 816千円 ※H24年度利用者数 31,325人	3.3	
甲西農村環境改善センター管理費	8,400千円 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、公募により管理者を指定している。生涯学習施設の効率的な運用を推進し施設の維持管理に努め、常に市民が利用し生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 (株)共立メンテナンス ・指定管理期間 3年間(H23~H25) ・指定管理委託料 8,400千円 ※H24年度利用者数 20,156人	3.5	
芦安高齢者コミュニティセンター管理費	284千円 市民が自主的な生涯学習等の講座(集会)を開催できるように施設の場を提供した。また施設維持管理に努め、市民がいつでもどこでも必要なときに生涯学習が行える環境を整えた。(主な利用:夜叉神太鼓保存会及び芦安中学生による太鼓の練習、社会福祉協議会によるおやつ作り) ※H24年度利用者数 511人	3.3	・施設の老朽化が著しく、安全に不安がある。
白根コミュニティ館管理費	383千円 市民が自主的な生涯学習等の講座(集会)を開催できるように施設の場を提供した。また施設維持管理に努め、市民がいつでもどこでも必要なときに生涯学習が行える環境を整えた。(主な利用:文化団体、生涯学習サークル、地域団体の会議、研修会等) ※H24年度利用者数 7,713人	3.5	

中項目

政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実
 施策:35 生涯学習システムの推進

担当課:生涯学習課

小項目	実績	評点	点検評価
ふるさと天文館 管理費	1,194千円 毎週土曜日に大型望遠鏡を活用した観望会を開催している。また、市内小学校の施設見学、生涯学習講座((望遠鏡作り・星座観望会・ふたご座流星群を見る会)等に利用された。市民が必要なときに利用できるように施設維持管理に努め、生涯学習が行える環境を整えた。 ※H24年度利用者数 714人	3.0	・大型天体望遠鏡があることは素晴らしい。引き続き有効活用を図っていくことがよい。 ・利用者が少ないがとても貴重なもの、今後の方向性を考えるべき。
橿形北地区農村環境改善センター管理費	2,540千円 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、特定指定として橿形北地区(曲輪田、上宮地、桃園3地区)区長会を中心とした運営委員会が施設の運営管理を行っている。生涯学習施設として効率的な運用を推進し、施設の維持管理に努め、常に市民が利用しやすい生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 橿形北地区農村環境改善センター運営委員会 ・指定管理期間 10年間(H18~H27) ・指定管理委託料 2,540千円 ※H24年度利用者数 11,148人	3.3	
橿形西地区農村環境改善センター管理費	2,340千円 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、特定指定として橿形西地区(高尾、平岡、上市之瀬等7地区)区長会を中心とした運営委員会が施設の運営管理を行っている。生涯学習施設として効率的な運用を推進し、施設の維持管理に努め、常に市民が利用しやすい生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 橿形西地区農村環境改善センター運営委員会 ・指定管理期間 10年間(H18~H27) ・指定管理委託料 2,140千円 ・施設用地借上料(妙了寺) 200千円 ※H24年度利用者数 9,926人	3.3	
南アルプス市働く婦人の家管理費	3,351千円 市の生涯学習を推進していくため指定管理者制度の導入を図り、特定指定として橿形豊地区(上今井、吉田、十五所、沢登4地区)区長会が施設の運営管理を行っている。生涯学習施設として効率的な運用を推進し、施設の維持管理に努め、常に市民が利用しやすい生涯学習の場を提供した。 ・指定管理者 豊地区区長会 ・指定管理期間 10年間(H18~H27) ・指定管理委託料 3,351千円 ※H24年度利用者数 29,660人	3.5	
生涯学習指定管理施設維持補修費	2,558千円 生涯学習指定管理施設の緊急な施設補修を行い、施設の維持管理に努めた。 ・甲西農村環境改善センター 300千円(エアコン修繕) ・橿形北地区農村環境改善センター 1,035千円 (停電時非常灯バッテリー取替、煙感知器取替、2階ベランダ防水補修、調理台ガスオープン及びコンロ取替え) ・働く婦人の家 353千円(トイレ改修) ・桃源文化会館 871千円 (屋上補助水槽修繕、空調機フィルター取替え)	3.3	

中項目

政策:22 生涯学習ネットワークの整備充実

施策:35 生涯学習システムの推進

担当課:生涯学習課

小項目	実績	評点	点検評価
文化振興推進事業	<p>6,824千円</p> <p>○社会教育関係文化団体活動支援事業 地域の伝統芸能の継承及び保存に努め、また活動を通じて地域の文化振興の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太鼓団体(夜叉神太鼓、甲州遠光太鼓、長清太鼓) 188千円 ・小笠原長清公顕彰会 2,500千円 (礼法講座、出前講座、基礎講座、流鏑馬事業、臨地研修等の開催。) ○市文化協会活動支援事業 市文化協会の自主的な活動により芸術文化及び生活文化の向上を図り、地域文化の振興等に努めた。4,136千円 ・市民文化祭事業(5地区開催) ・市内陶芸施設維持管理事業(八田、甲西) ・文化協会協力事業 ・ふるさと再見ガイドツアー開催事業(飯丘地区) ・市文化協会活動支援事業 文化協会会員 2,264人 ・市文化協会専門部活動支援事業 文化協会専門部 116部 	3.0	<p>・文化協会の事業改善を図り、活性化させ若年会員の加入を増やすことが必要である。</p>
桃源文化会館管理費	<p>183,228千円</p> <p>市内の芸術文化の拠点施設である桃源文化会館の施設維持管理及び事業運営の推進を図るため、指定管理者制度の特定指定を導入している。指定管理者の専門性、経験、実績を活かした独自事業の企画、実施等により、市民の充実した文化活動推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者 (財)桃源文化振興協会 ・指定管理期間 5年間(H213~H25) ・指定管理委託料 18,402千円 ・(財)桃源文化振興協会人件費7人分補助 44,301千円 定期昇給による増額分 1,009千円 ・施設用地借地料(2件) 4,433千円 ※H24年度利用者数 103,816人 ・舞台音響設備改修工事に係る出荷前工事確認検査立会旅費及び費用弁償 6千円 ・舞台音響設備改修工事 97,755千円 ・舞台音響設備改修工事設計監理業務委託 7,560千円 ・植栽管理(高木剪定)業務委託 1,468千円 ・井戸ポンプ給水設備修繕 557千円 ・井水施設緊急修繕工事 4,830千円 ・雑用ポンプ緊急修繕工事 2,037千円 ・ホール連結椅子修繕工事 871千円 	3.0	
文化振興推進事業(国民文化祭)	<p>9,061千円</p> <p>○国民文化祭開催事業</p> <p>・平成25年に開催される第28回国民文化祭・やまなし2013に向け、事前準備を進めるため開催地である徳島県「国民文化祭・とくしま2012」の視察や南アルプス山岳フェスティバル楡形山森林ウォッチング・仙丈ヶ岳登山・合唱の祭典のプレイベントを開催した。また、実行委員会、事業別企画委員会において、開催に向けての協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民文化祭開催事業負担金 9,061千円 (視察経費・プレイベント経費・各事業企画委員会開催経費・その他開催に向けての準備経費等) 	3.6	<p>・山梨国文祭の成功と文化振興への効果を期待したい。</p>

中項目

政策:23 学校教育の充実
 施策:36 生きる力を育む学校教育の推進

担当課 教育総務課

小項目	実績(金額は千円)	評点	点検評価
教育委員会経費	1,509千円 ・教育委員会の円滑な運営を図り、教育行政の基本方針や施策について審議し、決議した。 ・市内小中学校22校の学校を訪問し学校長との意見交換、授業参観、給食試食、施設状況の視察を行った。 ・教育委員先進地県外視察研修(栃木県宇都宮市・茨城県 小規模特認校制度と小笠原流礼法)を行った。その他研修会各種行事へ出席をした。 ・教育振興推進のため、その使命と責務に努めた。	4.0	・学校訪問、視察研修とも目的を十二分に達成した。 ・先進校視察は芦安小中の英会話科の研究と実践に向けて効果的であった。 ・各校の教育活動の実態と課題を共有する機会となった。
一般管理事務経費	358,639千円 教育委員会事務局組織に必要な事項を定め、所管事務を明確にし、教育行政事務の適正と効率的な運営を行った。 主な事業は以下のとおりである。 ○賃金 219,069(市単臨時雇用等) 補助教員・司書・栄養士・単独校調理員・用務員・芦安小中学校英会話科特認講師 等 ○報償 18,173(学校医報酬・就学児健診医師報酬) ○旅費 445(姉妹都市調査旅費等) ○需用費 4,089(消耗品・燃料費・印刷製本費 等) ○役務費 3,055(郵送料・口座振替手数料・保険料) ○委託料 79,617(二次ネット整備・学校職員健診・学校環境検査) ○使用料等 7,193(学校図書館システム・公用車・AED等リース) ○負担金等 25,727(各種負担金・学校給食助成金)	4.0	・市単講師の採用は学校現場において大いに有意義に機能している。 ・各校における教育課題や指導充実に市単教員配置は効果大である。今後も継続させたい。 ・34名の市単講師の配置は学校教育充実の為多大に貢献している。是非継続配置をお願いしたい。
育英奨学会事業経費	11,980千円 ○小林愛則育英奨学金 700 給付額は、年間一人10万円を1学年3名を限度とし3年間給付する。 平成24年度は7名に授与し、勉学の励みになっている。 ○南アルプス市奨学金 10,380 向学意欲はあるが経済的理由で就学困難な者へ貸付ける(年間:高校生12万・大学生30万)。平成24年度は高校生4名、大学生33名 ○芦安活性化対策育英奨学金 900 芦安地区から高等学校等に通学するため、奨学金を希望する者に対して年間12万円を貸与する。平成24年度貸与者は8名。	3.5	・芦安育英奨学金は南アルプス市奨学金に含めるか検討すべきである。 ・芦安奨学金は市になって10年経つので南ア市奨学金に含めるべきだと思う。

中項目 政策:23 学校教育の充実
 施策:36 生きる力を育む学校教育の推進

担当課 教育総務課

小項目	実績	評点	点検評価
就学援助事業 (小学校)	28,253千円 (要保護児童生徒13名、準要保護児童生徒387名、特別支援教育就学奨励児童生徒33名) ・就学に困難な児童に対して、学用品費等を援助することにより義務教育の円滑化を図る。また、特別支援学級に通う児童に対して保護者の負担能力に応じ経済的負担を軽減する就学支援を行った。 ・対象児童生徒の保護者の経済的負担の軽減が図られた。	3.6	・申請での認可であり適正な方への支給が図られるよう今後も努力するように
小学校 教育振興費	77,111千円 ・市内小学校15校の振興運営を行う。特色ある学校教育づくり、総合的な学習充実、教育課程を実施することができた。 ・市内小学校15校の振興運営を行うことで、特色ある学校教育づくり、教育課程を実施することができた。(教材補助、各種検査料、教材備品購入、校外行事補助、地域ふれあい道徳推進)	3.8	・各校の教育振興に多大な効果があり特色ある学校づくりに貢献している。
就学援助事業 (中学校)	26,749千円 (要保護児童生徒7名、準要保護児童生徒259名、特別支援教育就学奨励児童生徒12名) ・就学に困難な生徒に対して、学用品費等を援助することにより義務教育の円滑化を図る。また、特別支援学級に通う児童に対して保護者の負担能力に応じ経済的負担を軽減する就学支援を行った。 ・対象児童生徒の保護者の経済的負担の軽減が図られた。	3.6	
中学校 教育振興費	75,574千円 ・市内中学校7校の振興運営を行う。特色ある学校教育づくり、総合的な学習充実、教育課程を実施することができた。 ・市内中学校7校の振興運営を行うことで、特色ある学校教育づくり、教育課程を実施することができた。(教材備品、各種検査料、教材備品購入、校外行事補助、地域ふれあい道徳推進)	3.8	・各校の教育振興に多大な効果があり特色ある学校づくりに貢献している。
中学校関東大会・全国大会支援事業	15,068千円 ・文化部、体育部で参加する関東、全国大会に参加するための経費を補助することで、生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り心身ともに健康な生徒の育成ができた。	3.5	・心身の健全育成に大いに効果を上げている。 ・最低限の必要な補助を考えるべき。

中項目 政策:23 学校教育の充実
 施策:36 生きる力を育む学校教育の推進

担当課 教育総務課

小項目	実績	評点	点検評価
単独校給食運営経費	<p>学校給食を安心安全に提供するための事業。食文化の多様化による児童のアレルギー食の対応や、食育指導を行った。地産地消の食材についても、より多く取り入れるため、市栄養士部会で視察等を行い新規の納入業者の開拓に努めている。</p> <p>※給食業務を単独運営している学校の管理運営費 【旅費・消耗品・賄材料費・管理手数料 等】</p> <p>小笠原小 35,100千円 対象 657名 年間 127,703食 櫛形北小 14,684千円 対象 274名 年間 53,329食 櫛形西小 7,418千円 対象 135名 年間 26,384食 豊小 17,575千円 対象 320名 年間 62,292食 落合小 10,579千円 対象 196名 年間 37,598食 南湖小 15,055千円 対象 281名 年間 53,710食 甲西大明共同調理場 39,588千円 対象729名 年間134,655食 櫛形中 41,187千円 対象728名 年間129,015食</p>	3.2	<p>・地産地消の推進によく努力している。</p> <p>・未納給食費の徴収に努力していたが有難い。更に取り組んでいただきたい。</p>
給食センター運営経費	<p>学校給食を安心安全に提供するための事業。食文化の多様化による児童のアレルギー食の対応や、食育指導を行った。また食材の購入については複数の業者から見積りを徴し、最安値の業者と月ごとに契約を行っている。地産地消の食材についても、より多く取り入れるため、市栄養士部会で視察等を行い新規の納入業者の開拓に努めている。</p> <p>316,630(白根・八田給食センター及び若草学校給食センターの運営費集計)</p> <p>白根・八田給食センター 215,094 対象2,982名 年間563,596食 若草学校給食センター 101,536 対象1,470名 年間286,876食</p>	3.2	<p>・単独校給食と同じように地産地消の推進に努力しており、今後も継続して欲しい。</p> <p>・未納給食費の徴収に努力していたが有難い。更に取り組んでいただきたい。</p>
芦安南アルプスチロル学園運営事業	<p>15,273千円</p> <p>芦安地区の子どもたちと都市の子どもたちの交流事業として、また過疎地域の活性化のため小学校3年生から中学校2年生までの寮生8名を受け入れている事業。</p> <p>ハイキングや登山体験のほか、四季折々の地域の祭りへの参加や料理体験、など毎月多くのイベントを実施。</p> <p>平成24年度再配置検討委員会答申により平成25年度山村留学制度を廃止とする。</p> <p>・歳入:入園負担金、学園使用料等 4,570千円 ・歳出:臨時職賃金や賄い材料費等 15,273千円</p>	3.5	<p>・閉園後の施設活用について早急な検討が必要である。</p>

中項目 政策:23 学校教育の充実 施策:36 生きる力を育む学校教育の推進 担当課 南アルプス教育推進課

小項目	実績	評点	点検評価
外国語指導助手配置管理事業	<p>32,555千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7名の外国語指導助手(ALT)を配置し、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上と、国際理解の充実を図った。 ・小学校外国語活動研修を行い、小学校教職員の指導内容の充実を図るとともに、ALT指導研修等を行いALTの指導内容の向上も図った。 	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・指導助手の効果的な活用について研修する機会の提供が必要である ・ALTの問題に対応することに難があった。 ・派遣会社をしっかりと選定することが必要であり、H25に改善
市指定研究事業	<p>○学びの質を高める授業づくり推進事業 379千円(指定校3校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に沿った「習得」「活用」「探求」を意識した学習を進めるために、日常的な授業を見つめ直し、児童・生徒がお互いの考えや表現を聴き合い、学びあう質の高い学びを保障する授業づくりを進めるために、指定校3校の研究の視点と狙いを明確にし研究について支援を行った。 <p>指定校3校(白根源小・大明小・甲西中)</p> <p>○南アルプス自然体験推進事業 151千円(指定校 芦安小・芦安中)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今事業の指定校は、自然体験学習等の実績が認められ、ユネスコスクールに認定されている。南アルプスの自然の素晴らしさを知り、豊かな感性を育て、仲間作りの大切さを学ぶ体験活動を実施した。 ・芦安中学校 登山体験(仙丈ヶ岳) ・芦安小学校 自然体験活動(ウッドビレッジ伊奈ヶ湖キャンプ) <p>○いじめ不登校未然防止推進事業 1,589千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校の未然防止の観点から、教員が客観的に学級の状態を把握できるQ-Uテストを実施した。 <p>対象学年 全小学校3年生、5年生 年2回のQUテスト実施 全中学校1年生 年2回の内、1回目QU、2回目ハイパーQUテストを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定校5校においては、山梨大学臨床心理士の指導を元に、心理プログラムを導入し、支援が必要な児童生徒への対応を行った。 <p>○小笠原流礼法 431千円</p> <p>市の政策方針5つの基本政策である、ふるさとを愛し、礼儀正しく、たくましく、世界に羽ばたく「南アルプスの子」を育成する。小中学校において「小笠原流礼法」を導入し道徳教育を推進していくため、宗家講演会や教職員を対象とした研修会を行った。</p>	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・当面する教育上の諸問題に対応する適切な研究態勢を各校に課しており大変有意義な事業となっている。 ・いじめ・不登校未然防止研究指定校の研究・実践について、方法を工夫しながら市内各校への還流を図るべきである。教育推進課3名の学校現場を熟知した職員の熱心な指導により、各校の研究が深まり、学習指導要領の求める学力が向上してきている。 ・「地域ふれあい道徳」を2校に研究指定して9年たち市に道徳の時間が定着しとてもよい。 ・研究指定を受けることにより、一層の授業改善や児童・生徒理解が図られ大きな成果をあげている。公開授業研究や研究発表会を通して、成果が共有され、市内各校の教育実践に大いに役立っている。

中項目

政策:23 学校教育の充実
 施策:36 生きる力を育む学校教育の推進

担当課 南アルプス教育推進課

小項目	実績	評点	点検評価
県指定校・委託事業	<p>○「やまなし」心づくり研究指定校事業 600千円 (若草中200千円、若草小200千円、若草南小200千円) 「ふるさとを愛し、世界に通じる人づくり」を基本理念とした「やまなしの教育振興プラン」が策定され、若草中学校区の3校が指定され義務教育9年間を見通した道徳教育。 ・平成24年度は、山梨県教育委員会より3年間指定された最終年度であったため、3年間の研究を活かし、公開研究会の実施及び、研究成果物の作成を行った。</p>	3.4	<p>・家庭・学校・地域が一体となり取り組む機会となり大きな成果があった。指定が終わっても今までの成果や課題をふまえ一層の取り組みを期待する。</p>
南アルプス市教育支援センター事業	<p>8,628千円 ・様々な背景により諸問題を抱えた児童生徒やその保護者に対応するため、臨床心理士を委嘱し、専門的なアドバイスやカウンセリングを行った。(臨床心理士 週2日勤務) ・学校へ登校することが困難な児童生徒か通う適応指導教室(通称:ウィング)では、学校復帰を目指し、家庭・学校等と連携し、学習支援や教育相談を行った。 支援センター利用者状況 入級登録者数 18人(平均登所者数約10人) 教育相談件数 944件</p>	3.4	<p>・児童生徒にとどまらず、保護者・学校を支援し大きな成果をあげている。 ・市独自で設置している所はなく現在の社会状況においてはとても大切なものである。 ・特別に支援を要する児童・生徒にきめ細かく対応し学校・家庭とも連携を密にとり大きな成果をあげている。</p>
地域ぐるみの学校安全体制整備事業(スクールガードリーダー・学校応援団に関すること)	<p>○スクールガードリーダー事業 577千円 ・学校安全管理の一層の充実を図ることを目的とし市内に4名のスクールガードリーダーを委嘱し、児童・生徒が学校や通学路において安心して学習に取り組めるよう、学校巡回指導・学校施設整備の点検・放課後における安全パトロール・通学路の安全点検・児童への安全指導を行った。</p> <p>○南アルプス市学校応援団事業 344千円 ・地域全体で学校教育を支援する体制づくりを構築し、学校応援団を組織し、市内の各中学校区において地区代表・コーディネーターを中心に活動を実施した。 ・それぞれの地区において、教育的ニーズに対応できるボランティアを募集し、ボランティア活動を実施した。(ボランティア登録者数H24年度末 653人)</p>	3.2	<p>・担当課職員の適正な企画運営によりスクールガード事業、学校応援事業が定着し成果をあげている。 ・学校応援団事業については、学校を中心に行っている所が多く事務局をおくことで改善できると考える。</p>

中項目

政策:23 学校教育の充実
 施策:37 学校施設の整備充実

担当課 教育総務課

小項目	実績	評点	点検評価
小学校教育系P C保守業務	3,434千円 学習指導要領に基づいた情報教育を充実するために、全ての小学校教室で児童及び教員がインターネットを活用できる環境を整備している。そのため小中学校間で統一した整備を実施しており、維持管理についても、市内の教育用パソコン端末機器等を一括して保守管理することで、経費の軽減を図っている。 ・教育用パソコンシステム保守業務 ・教育系ネットワーク保守業務 ・教育用パソコン修繕業務	3.4	・財政状況が厳しくなる折、情報機器の整備をどこまで行うのか検討する必要がある。 ・情報教育の充実の為学校現場での有効活用を期待する。
中学校教育系P C保守業務	1,615千円 学習指導要領に基づいた情報教育を充実するために、全ての小学校教室で児童及び教員がインターネットを活用できる環境を整備している。そのため小中学校間で統一した整備を実施しており、維持管理についても、市内の教育用パソコン端末機器等を一括して保守管理することで、経費の軽減を図っている。 ・教育用パソコンシステム保守業務 ・教育系ネットワーク保守業務 ・教育用パソコン修繕業務	3.4	同上
小学校管理費	156,662千円 ・市内小学校15校の管理運営を行う。児童が安全に伸びやかに過ごせる学習環境の整備と充実を図ることができた。 ・市内15校の管理運営を行うことで、学習環境の整備と充実を図ることができた。(学校修繕料、管理備品の購入、光熱水費、委託料等) ・老朽化の進んでいる学校については、学習環境の整備のための管理費(修繕料)等の経費が必要になる。	3.4	老朽化が著しい学校については大規模改造工事を検討すべきである。また学級数増加により教室不足が見られるが早急な対応が必要である。
中学校管理費	81,087千円 ・市内、中学校7校の管理運営を行う。生徒が安全に伸びやかに過ごせる学習環境の整備と充実を図ることができた。 ・市内中学校7校の管理運営を行うことで、学習環境の整備と充実を図ることができた(学校修繕料、管理備品購入、光熱水費、委託料等) ・老朽化の進んでいる学校については、学習環境の整備のための管理費(修繕料)等の経費が必要になる。	3.4	・学級数増加による教室不足が見られ早急な対応が必要である。
小学校施設設備整備事業(単独)	71,122千円 小学校(15校)の既存する施設及び設備について、耐震補強及び改修を最優先に実施する中で、経年劣化等に伴う施設改修や設備更新を行っており、学校間の格差を是正し、学校施設の耐久性を計画的に向上することができた。 ・修繕料 37件 9,675 ・白根百田小校舎屋上防水改修工事 9,870 ・落合小旧屋外プール解体工事 6,563 ・南湖小プール塗装改修工事 3,696 ・大明小プール日除け設置工事 2,153 ・白根東小校庭東側フェンス改修工事 2,835 ・八田小校舎トイレ洋式改修工事 1,279 ・豊小校舎トイレ洋式改修工事 2,090 ・楡形北小インターフォン改修工事 1,611 ・豊小放送設備改修工事 1,286	3.9	・緊急性のあるものにすばやく対応し学校現場で大変喜ばれている。

中項目 政策:23 学校教育の充実
 施策:37 学校施設の整備充実

担当課 教育総務課

小項目	実績	評点	点検評価
小学校地下式灯油施設改修事業	18,008千円 学校敷地内に埋設された暖房用灯油タンク及び給油配管について、腐食老朽化等による漏油を防止するため、地上化式に改修した。 ・小学校地下式灯油施設改修工事設計監理業務委託 2,079 ・小学校地下式灯油施設改修工事 15,929 八田小、芦安小(配管点検)、若草南小、楡形北小(配管)	3.5	・見通しをもった対応で大変よかった。
中学校施設設備整備事業(単独)	21,882千円 中学校(7校)の既存する施設及び設備について、耐震補強及び改修を最優先に実施する中で、経年劣化等に伴う施設改修や設備更新を行っており、学校間の格差を是正し、学校施設の耐久性を計画的に向上することができた。 ・修繕料 15件 3,319 ・白根御勅使中放送設備改修工事 1,260 ・楡形中特別・技術教室天井扇設置工事 2,310 ・若草中屋外プール補修工事 3,539 ・中学校バスケットコートライン引替工事 2,079	3.5	
楡形中学校武道場新築事業	116,306千円 新学習指導要領(平成24年度)において、武道の授業が必修化されるため、老朽化(昭和51年建築)が著しく耐震対策も必要な旧楡形武道館を学校施設として改築した。 鉄骨造平屋建て 延べ床面積615.04㎡、太陽光発電 20kw。 ○歳入 学校施設環境整備改善交付金 34,021 ○歳出 ・工事監理業務委託 4,803 ・楡形中学校武道場新築工事 完成払 建築主体・外構 79,999 機械設備 5,637 電気設備 9,157 太陽光発電設備 10,808 ・楡形中学校弓道場仮設工事 2,993 ・楡形中学校防球ネット増設工事 2,775	4.0	・教育環境の充実にとって大変有効な事業となっている。 ・すばらしい施設ができた。学校体育において、また社会体育においても大いに活用し成果を上げてもらいたい。
白根御勅使中学校屋内運動場改築事業	66,885千円 屋内運動場は、平成16年度耐震診断調査により、早急に改築が必要となり、文部科学省の交付金事業を活用して、部室の併設及び外構工事等も含めた安全な教育環境施設とするため整備する。 鉄骨造平屋建て 延べ床面積1246.93㎡、太陽光発電 20kw。 ・工事監理業務委託 29,894 ・白根御勅使中学校周辺整備工事 25,757 ・白根御勅使中学校部室棟改築工事 11,235 H25年度への繰越 歳入 147,973 歳出 420,272	3.9	・教育環境に資する有効な事業となっている。 ・この事業を最後に南ア市の学校施設は耐震化がすべて完了しすばらしい。 ・学校体育において大いに活用されることを期待したい。

中項目

政策:23 学校教育の充実
 施策:37 学校施設の整備充実

担当課 教育総務課

小項目	実績	評点	点検評価
中学校地下式灯油施設改修事業	4,148千円 学校敷地内に埋設された暖房用灯油タンク及び給油配管について、腐食老朽化等による漏油を防止するため、地上化式に改修した。 ・中学校地下式灯油施設改修工事設計監理業務委託 1,029 ・中学校地下式灯油施設改修工事 3,119 八田中、楡形中	3.5	・問題が起こる前に対応できてよかった。
単独校給食施設維持管理費	学校給食を安心安全に児童に提供する給食施設及び厨房備品の維持管理を行った。厨房器機の故障などはすぐに業者発注するのではなく、職員が修理を行ない、それでも無理な場合は、他の給食施設から不要なものをまわすなどして対応している。 ※給食業務を単独で運営している学校の施設維持管理費【燃料費・光熱水費・修繕費・維持管理手数料・維持管理委託料等】 小笠原小 3,015千円 楡形北小 2,105千円 楡形西小 1,480千円 豊小 2,049千円 落合小 1,559千円 南湖小 2,040千円 甲西大明共同調理場 3,235千円 楡形中 1,868千円	3.4	・安全安心の給食提供の為、充実した給食センターの建設が望まれる。
給食センター施設維持管理費	学校給食を安心安全に児童に提供する給食施設及び厨房備品の維持管理を行った。厨房器機の故障などはすぐに業者発注するのではなく、職員が修理を行ったり、他の給食施設から不要なものをまわすなどして対応している。 54,879(白根・八田給食センター、芦安学校給食センター及び若草学校給食センターの運営費集計) 燃料費・修繕費・点検料・維持管理委託料 等 白根・八田給食センター 40,023 芦安学校給食センター 839 若草学校給食センター 14,017	3.4	・芦安センターの閉鎖を視野に今後のあり方を考えるべき。
新学校給食センター建設事業	8,144千円 若草・楡形・甲西地区の12校が利用している給食施設を統合し、新たな給食センターを建設する。H24年度は敷地調査・基本設計、H25年度は基本設計・実施設計、H26～27年は建設。H27年6月完成予定。 H24年度は主に地質調査・建設予定地測量・受配校給食施設調査・先進地視察を行った。	3.8	・食物アレルギー対策を含め、安心安全な給食提供に期待する。

中項目 政策:24 青少年の健全育成
 施策:38 健全育成支援体制の強化充実

担当課 生涯学習課

小項目	実績(金額は千円)	評点	点検評価
青少年対策事業	18,426千円 青少年育成推進事業・ジュニアリーダー養成事業・各種子ども祭り開催事業・子どもクラブ親睦球技大会開催事業・成人式挙行事業・青少年健全育成推進団体補助事業・青少年育成カウンセラー設置事業等を実施し、心身ともに健やかな次代を担う青少年の健全育成を図った。 ○青少年育成推進会議運営事業 1,862 青少年育成推進員報償、広報「南アルプスの青少年」・青少年生活指導要項(夏冬)印刷折込、「家庭の日」啓発作品の参加賞・記念品、子ども110番看板他経費 ○ジュニアリーダー養成事業 592 「ハヶ岳少年自然の家」を利用した1泊2日の研修経費。(8月7日～8日 児童生徒69名、8月21日～22日 児童生徒55名参加) ○各種子ども祭り開催事業 834 甲西子ども祭り181、若草三世代ふれあい祭り108、芦安子ども夏まつり60、青少年桃っ子祭り285、楡形三世代ふれあい祭り200 ○放課後子ども教室推進事業 403 学生ボランティアを活用して市内5ヵ所の児童館においてヒップホップダンス・長縄跳び・英会話教室等を実施した。 ○成人式挙行事業 988 会場設営、プログラム作成、CATVモニター委託料他(成人者への記念品は廃止している) ○青少年健全育成推進団体補助事業 6,076 ・青少年育成南アルプス市民会議 360 ・6地区青少年育成地区民会議 4,571 ・市子どもクラブ指導者連絡協議会 437 ・南アルプス警察署管内少年補導員連絡協議会 328 ・キッズタウン南アルプス(南アルプス青年会議所へ) 380 ○青少年育成カウンセラー設置事業 6,300 年額1名126万円、芦安・白根地区を兼務体制として5名○県子どもクラブ安全会参画事業 1,246 年会費150円・8,306名分 ○その他経費 125	3.2	・ジュニアリーダー・各種子ども祭り・6地区青少年育成地区民会議・スクールカウンセラーは今後のあり方を考える時期である。 ・各地域の活動について今までそれぞれの実態を踏まえ長い間活動してきた事業については、今後も継続して取り組んでいく事を期待したい。 ・子どもクラブ球技大会については参加者や種目について課題があり検討したい。

中項目 政策:25 文化づくりの推進
 施策:39 歴史・伝統文化の振興

担当課 文化財課

小項目	実績	評点	点検評価
文化財保護事業	8,298千円 豊かな自然と共に貴重な文化遺産を後世に残すため、市内の指定文化財の保護を行った。また学校教育や生涯教育と連携しながら文化財の活用及び広報誌等を通じて啓発事業を実施した。 ○実施事業 ・国史跡 将棋頭・石積出、県指定物見塚古墳の維持管理(草刈等) 1,314千円 ・県指定文化財 古長禅寺庭園修繕事業補助 83千円 ・県指定天然記念物 鏡中条ゴヨウマツ害虫防除事業補助 18千円 ・ " 宝珠寺のマツの害虫防除等事業補助 77千円 ・ " 白根のカエデ倒木回避事業補助 55千円 ・ " 大嵐のビャクシン倒木回避及び樹勢回復事業補助 56千円 ・ " 湯沢のサイカチ樹勢診断 ・ " 湯沢の思い杉周辺環境整備対応 ・文化財防火デーの一環として、長盛院(八田地区)、長谷寺(八田地区)での防災訓練に謝礼 10千円 ・指定文化財管理報償金の交付(130件) 1,068千円 ・長谷寺本堂(国指定)防災設備点検委託補助 11千円 ・国指定文化財三恵の大ケヤキに薬剤散布、周辺整備及び風害対応 418千円 ・国重要文化財「大日如来及四波羅蜜菩薩坐像」保存修理(宝珠寺) 196千円 ・市指定文化財「沢登六角堂」改修事業補助 871千円 ・市指定文化財説明看板設置事業 新規1基 取替え1基 151千円 ・市指定天然記念物 広誓院のカヤ樹勢回復事業補助 309千円 ・芦安文化財マップ作成事業 200千円 ・高尾集落地域資源活用事業 ・古文書調査1件 ・教育普及事業実施(学校及び一般講座) 実施事業215事業(前年度183事業) 参加人数10,972人(前年度8,294人)・普及啓発事業実施 広報南アルプス掲載11回 南アルプスふるさとメール掲載11回・CATV放映4回 ・インターンシップ受け入れ事業実施(高校生3名) ・石積出駐車場周辺夜間警備 290千円 ・石積出駐車場用地借地料 340千円	3.8	

中項目

政策:25 文化づくりの推進
 施策:39 歴史・伝統文化の振興

担当課:文化財課

小項目	実績	評点	点検評価
埋蔵文化財調査事業	15,083千円 埋蔵文化財は、郷土がどのように歴史をたどって成り立っているかを知る重要な手がかりとなる。本市の埋蔵文化財についても同様で、重要であり発掘調査と保存に努めている。 ○実施事業 史跡整備事業 2,532千円 ・国指定史跡御勅使川旧堤防を適切に保全し広く活用を図るため、保存管理計画策定委員会の設置及び計画策定に着手した。H24～H25の2ヶ年事業。 市内試掘確認調査事業 8,553千円 ・埋蔵文化財調査及び照会事業:遺跡有無等の照会634件(前年度631件)、試掘確認調査実施20件(前年度23件)、工事立会実施88件(前年度82件)、本調査実施 1件(前年度2件)。お熊野堤の発掘調査では現地説明会を実施し、調査状況を広く市民に公開した。 ・分布調査事業 榊形堤防:調査の結果、堤防の構造、規格が明らかとなった。 古墳:除草作業を実施し、古墳の現況を確認した。 埋蔵文化財保存活用事業 2,865千円 ・遺跡情報発信システム「文化財Mナビ」をスマートフォンに対応させた。さらに拡張現実(AR)による現地での遺跡復元を体感できる「MナビAR」を開発した。これにより地下にある遺構を360°のぞき見ることができるようになった。 ・体験型史跡めぐり「語り部と歩くふるさとの文化財-御勅使川ゆかりの史跡を歩く-」を開催 参加者40名 ・埋蔵文化財等広報資料作成事業 「堤の原風景Ver3」を作成。「お熊野堤」や「榊形堤防」などの最新の調査結果や市南部の天井川が集まる景観を解説した増補改 ・体験学習用教材:市内遺跡から出土した土器や木製農具などの体験学習用レプリカを作成した。 埋蔵文化財調査受託事業 1,133千円 ・発掘調査受託事業 白根中央地区圃場整備に伴う発掘調査報告書(ロタコ)作成事業 1,133千円 甲西児童館建設に伴う発掘調査報告書(西川遺跡)作成事業(子育て支援課予算) 旧運転免許センター敷地内市道建設に伴う発掘調査事業(道路整備課予算)	3.5	・御勅使旧堤防の適切な保存管理計画が作られ史跡群が町づくりに生かされることを望む。

中項目 政策:25 文化づくりの推進
 施策:39 歴史・伝統文化の振興

担当課:文化財課

小項目	実績	評点	点検評価
文化財調査事務所管理費	<p>7,939千円</p> <p>文化財調査事務所(ふるさと文化伝承館)は、発掘された出土品を保管あるいは展示し、また、発掘調査された遺跡の報告書作成及び出土品の整理を目的としている。ふるさと文化伝承館は、地域の歴史、文化遺産や資源情報等を収集保管し整理研究しその展示や体験学習などの教育普及活動の役割と文化財施策の中核となる施設として活動している。</p> <p>・入館者数 4,841人(前年度は4,280)</p> <p>○実施事業</p> <p>・ふるさと文化伝承館の維持管理 5,610千円</p> <p>・スタッフ賃金 2,329千円</p> <p>・文化財の公開展示(鋳物師屋遺跡出土品などの公開展示)</p> <p>・体験学習(常時)</p> <p>・体験学習教室:古代ものづくり教室を中心に7回開催するとともに、来館者の減少する1月から3月には毎週土・日曜日に土器作り教室を実施した。</p> <p>①「蘇と焼印コースターをつくろう!」教室</p> <p>②「ミニチュア縄文土器をつくろう!」教室</p> <p>③「ミニチュア縄文土器野焼き」教室</p> <p>④「10秒で着火起こしのコツ伝授します」教室</p> <p>⑤⑥「小笠原流礼法体験講座1・2」</p> <p>⑦週末はミニ土器づくり教室(計23回実施)</p> <p>・伝承館で夏まつり(227人参加、縄文・古代体験、工作を中心)</p> <p>・週末はナイトミュージアム!</p> <p>来館者の減少する1月3月の金土のみ開館時間の延長を行い温かい飲み物を提供し、暗い照明の中で見学する試みを行った。</p> <p>・伝承館エントラス展(企画展4回)</p> <p>①「今甦る!南アルプス市の戦争遺跡ロタコ(御勅使川原飛行場跡)展</p> <p>②「市内に広がるウシ・ウマの足跡」展</p> <p>③「小笠原流礼法のこころとかたち」展(関連イベント:小笠原流礼法講座2回)</p> <p>④「今祈りのよこがお」展(2回リニューアル①阿弥陀如来展②江原浅間神社 浅間神像国指定記念)</p> <p>※エントラス展については伝承館に入館するとすぐ目を引く場所に展示し展示物については手作りに対応している。</p> <p>・へび年記念ミニ展示「縄文人とへび」</p> <p>・カブトムシのようちゅうおゆずりします!開催</p> <p>・南あるぷす史学講座 南アルプス市の仏像と神像</p>	4.2	<p>・興味ある楽しい体験教室が開催されている。参加者の拡大を図る中で今後も継続していきたい。特に夏休み中の体験教室の充実を望む。</p>

中項目

政策:25 文化づくりの推進
 施策:39 歴史・伝統文化の振興

担当課:文化財課

小項目	実績	評点	点検評価
安藤家住宅管理費	5,447千円 国重要文化財「安藤家住宅」の施設運営維持管理事業 ・安藤家一般公開観覧者数 5,409人 ○実施事業 ・安藤家住宅の維持管理 3,360千円 ・安藤家住宅スタッフ賃金 1,458千円 ・安藤家住宅来館者用駐車場借上げ料 200千円 ・展示企画イベント事業 429千円 ①安藤家住宅の雛飾り(関連イベント:安藤家住宅で演奏会～甲斐の歴史を歌い、語り、奏でる～) ②安藤家住宅の端午の節句飾り ③安藤家住宅で七夕飾り ④安藤家住宅で琵琶語り部の会 ⑤安藤家住宅で昔あそびとお話会(夏休みイベント第1弾) ⑥安藤家住宅でちょっとこわい夏の夜話(夏休みイベント第2弾) ⑦安藤家住宅で秋祭り(昼の部 夜の部) ⑧安藤家住宅ライトアップ ⑨安藤家住宅でミニ門松作り ※その他、観光協会主催のさくらんぼ狩りツアー参加者が安藤家で米粉挽き体験を行い日本の文化に触れ楽しむ場となり、地元西南区では文化展を開催し地域の文化交流の場になった。	4.0	・きめ細やかなユニークな取り組みをとおして施設の有効利用と地域の活性化に資するところが大きい。 ・例年秋祭りが充実し、多数の参加者がある。

中項目 政策:26 スポーツ・レクリエーションの振興
 施策:40 スポーツ・レクリエーションの活動の推進 担当課:生涯学習課

小項目	実績	評点	点検評価
保健体育総務管理事業	<p>88,422千円</p> <p>○市民スポーツ・レクリエーションの推進に中心的役割を担う(公財)南アルプス市体育協会、スポーツ推進委員及び、市民のスポーツ活動の支援を行った。</p> <p>・スポーツ推進委員の活動を支援する事業費5,788千円(ウォークラリー・スポレック交流・スポーツラリーの各大会を開催し、市民延べ500人余が運動しながら交流した。高齢者健康スポーツ教室、スポレック教室を開催し、運動する機会の少ない市民が心地よい汗を流した。)</p> <p>・南アルプス市体育協会事業費補助15,526千円(地区体育協会・競技専門部等支援、市民体育祭、スイミングフェスティバル、チビリンピック等を開催)</p> <p>・南アルプス市体育協会運営費補助5,412千円(事務機器賃借、消耗品、各種手数料)</p> <p>・南アルプス市体育協会人件費補助60,450千円(事務局長1名、職員9名の給与)</p> <p>・県外スポーツ大会出場補助685千円(延べ13団体の市民が山梨県の代表として、県外大会で活躍した。)</p> <p>・ホームタウンチームの支援161千円、スポーツ大会保険加入185千円、峡中地区スポーツ推進委員協議会・県体育協会法令外負担金215千円</p>	3.8	<p>・各種大会で市民が活躍し成果をあげている。スポーツ推進委員会の各種事業が市民に認知され、定着し、参加者も増加している。</p>
スポーツ振興推進事業	<p>22,883千円</p> <p>○市民の体力向上、健康増進や生きがいづくりのため、気軽にスポーツ活動に参加できる各種事業及び、本市の特色あるスポーツであるホッケー競技を推進する事業を行った。</p> <p>・初心者スポーツ教室を開催 6,388千円(市民の体力向上や、運動を始めるためのきっかけ作りとなるよう、1期・2期、夏季、冬季の教室を開催し、延べ14種目88教室に1,160人が参加した。)</p> <p>・小学生ホッケー交流大会 506千円(夏・秋2日間開催した。)</p> <p>・小中学校ホッケー指導者派遣1,636千円</p> <p>・全国スポ少ホッケー交流大会参加1,236千円(小学生男・女2チームが7/27~30 新潟市で開催された大会へ参加 男子白根源小3勝2敗、女子白根東小 1勝2敗1分)</p> <p>・第10回桃源郷マラソン大会実行委員会補助金13,117千円(4/8開催 申込6,732人)</p>	3.2	

中項目

政策:26 スポーツ・レクリエーションの振興
 施策:40 スポーツ・レクリエーションの活動の推進

担当課:生涯学習課

小項目	実績	評点	点検評価
<p>体育施設維持 管理事業</p>	<p>46,025千円 ○社会体育施設及び、学校体育施設の一般開放業務を行い、市民のスポーツ・レクリエーションの振興に務めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白根B&G海洋センター「榎フィッツスポーツクラブ」 甲西市民総合グラウンド他1「NPOトラベツスポーツクラブ」 榎形総合体育館他10「(公財)南アルプス市体育協会」に社会体育施設の管理業務を委託した。(白根B&G海洋センター23,000千円、甲西市民総合グラウンド他1施設2,740千円、榎形総合体育館他10施設13,009千円) ・榎形総合体育館排水管詰まり、甲西体育センター自動火災報知設備、榎形西体育館防球窓格子等修繕等を実施 1,342千円 ・八田小学校夜間照明用高圧ケーブル取替え工事 工事監理費114千円、工事費3,707千円(グラウンド夜間照明で停電事故が発生、調査により高圧ケーブルの老朽化による漏電と判明し、取替え工事を実施) ・榎形総合体育館大規模改修基本計画(概算費用)策定218千円、スポーツ施設駐車場等借地料1,664千円、仮設トイレリース料231千円 	<p>3.8</p>	<p>・B&G海洋センターの効果的な運営によりH25財団より評価された。</p>
<p>体育施設整備 事業</p>	<p>94,762千円 ○市民が安全で気持ちよくスポーツレクリエーション活動が行えるよう、社会体育施設の維持整備等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊小学校グラウンド防球ネット設置工事 設計監理462千円、工事10,972千円 (H=10m、W=112mをグラウンド東・南面に設置し、隣接道路等への飛び出し防止対策を実施) ・八田農業者トレーニングセンター耐震補強及び大規模改修工事 設計・監理11,246千円、工事62,759千円 (Is値0.67→0.92、屋根材錆止め、外壁クラック処理再塗装、床研磨再塗装、建具調整、内壁補修、照明器具調整及び電球取替え、放送設備入替え、和便を洋式便器に取替えを行った。) ・若草体育館大規模改修工事实施設設計8,820千円 ・若草テニスコート周辺用地下水道受益者負担金503千円 	<p>3.5</p>	